インフルエンザも台風も猛威を振るいませんように・・・

いつも心に長崎を 第15号

令和８年 10 月 20 日(木)
長崎中学校学校だより
校　長　　鬼塚　喜隆

おおとり祭を終えて～「最大化」された学び～

「先生の名前が案内にあったから来てみたんですが、コッコデショ本当にすごいですね。ものすごく感動しました!!」

おおとり祭の終了後、20 年ほど前の私の教え子がわざわざやってきて、伝えてくれた言葉です。これまで努力を重ねてきたことが、足を運んでくれた皆様に確実に伝わったことを実感する嬉しい一言でした。





「学びの最大化」を言い続けてきた今年のおおとり祭。合唱コンクールでは、各学級、学年の特色や思いが伝わるハーモニーを全クラスが披露しました。特に３年生は人数の少なさを全く感じさせない、後輩の憧れとなる姿を見せてくれました。一人ではつくれないものを仲間とつくり上げること。思い通りにならないことに悩みながらも、力を合わせて前に進むこと。その過程そのものが青春であり、学びだと思います。青春、学びが最大化できたことを本当に嬉しく思っています。



１年生の**音の博物館**は、本当に大盛況でした。これまで、多くの方々との出会いや関わりの中で学びを深めてきた成果を、工夫を凝らして表現できたことが素晴らしく、さまざまな方から多くの感心やお褒めの言葉をいただきました。



そして２、３年生の**コッコデショ**。みんなで練習を頑張ってきたからこそ、みんな揃って本番を迎えられなかった無念さは大きなものがあったと思います。ただ、本番に立てた人が、立てなかった人の無念さを想像し、しっかりと役割を果たし、力を出し切り、おおとりが天を舞うかのような美しいコッコデショを披露しました。裏方として法被作りやムービー製作を頑張った人も含め、みんなでつくり上げたと自信をもって言える、コッコデショとなりました。



オープニングを平和への願いを込めて美しく飾った音楽部のハンドベル演奏、日々の各教科の学びの成果としての展示物も含め、今の長崎中学校の学び、そして子どもたちの青春の輝きを多くの皆様に披露できた一日となりました。本当にありがとうございました。